

ひの 議会だより

No. 143

令和7年5月

発行/鳥取県日野町議会



日野に生きる

～鍛冶士 宝光～

裏表紙につづきます

令和7年予算(主なもの)	P2～3
令和7年予算審査特別委員会報告	P4～5
令和6年度補正予算	P8
日野学園6年生議会	P9
常任委員会活動報告	P10
一般質問(8名)	P11～15
特集記事シリーズ・日野に生きる	P16

令和7年度当初予算 一般会計43億720万円

(表示額は万円単位とし千円以下は四捨五入しています)

令和7年度3月定例会が4日から21日までの18日間に渡って開催されました。議会は条例改正、一般会計、特別会計等を含む29議案が上程され、賛成多数で可決しました。この予算は昨年比16.3%の増額で、特に子育て・学校教育・集落機能の維持・まちづくり・産業、教育・医療福祉など幅広く展開される計画が積み上げられている予算です。

一般会計

歳出の主なもの

- 集落機能の維持・移住・定住 2億2650万円
- 世帯向け住宅建設・集落支援事業
- 移住定住・空家対策事業



野田地区に建設される世帯向け住宅(イメージ写真)

子育て・幼児教育

6962万円

- 電源立地地域対策交付金事業(保育所ホール照明LED化)
- 子ども家庭支援事業
- 特別医療費助成
- 家庭子育て支援事業
- 妊婦のための支援給付
- 病児・病後児保育事業
- 一般管理ひのっこ保育所のプール修繕

学校教育・社会教育

1億1909万円

- 校内通信ネットワーク整備事業
- ふるさと教育推進事業
- 学校・家庭・地域連携事業

防災・減災

9809万円

- 一般管理(消防ポンプ車更新)



消防車両の入替

- 急傾斜地崩落対策事業
- 農業水路等長寿命化、防災、減災事業
- 住宅等耐震対策促進事業
- 林道改良事業
- 防災一般管理(総務課)

その他

4億1940万円

- 小児科医育成・確保強化事業
- 医療と介護の一体的実施事業
- 伝染病予防
- 健康増進
- 福祉人材確保事業
- 社会福祉協議会助成
- 地域でつくりみんなで支える送迎事業
- 地域福祉推進員配置
- 重層的支援体制整備事業

- 総合行政情報システム管理
- 道路維持一般管理
- 地積調査事業
- 橋梁修繕事業
- 広域基幹林道宝仏山線

特別会計

国民健康保険特別会計

4億843万円

- 国民健康保険税を4方式から3方式に変更する。

介護保険特別会計

5億8617万円

- 第9期介護保険事業計画によりほぼ横ばいを見込む。

後期高齢者医療保険特別会計

7400万円

- 保険料増額見込みにより、後期高齢者医療広域連合へ納付金を増額する。

簡易水道事業会計

1億7552万円

- 黒坂地区新水源調査、工事設計、掘削工事
- 簡易水道施設耐震老朽化診断

下水道事業会計

2億4759万円

- 安原・黒坂地区マンホールポンプ更新。
- 中央浄化センター高圧ケーブル取替

産業・雇用

9517万円

- 林業再生事業
- 森林環境整備事業
- 特定地域づくり事業
- 畜産堆肥活用推進事業
- 活性化施設管理(大夢多夢屋根修理)
- 鳥獣被害対策事業
- オシドリ観察小屋管理
- 日野町農林振興公社運営補助
- 鉄道駅観光活用事業
- アウトドア・アクティビティ推進事業
- まちづくり 2億5170万円

保険・医療・福祉

6億2443万円

- 移動販売事業
- 生活交通確保対策事業
- 日野高校魅力化向上事業
- CATV番組製作
- 日野町リノベーションL
- 買物安心確保事業
- 学校跡地活用
- 福祉人材確保に関する施設整備貸付事業
- 日野病院組合事務
- 日野病院組合医療機器整備事業

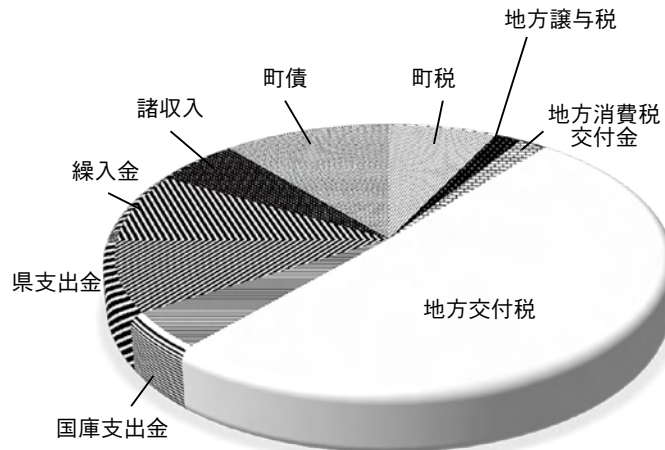


文化ホール30周年イベント開催

- 脱炭素推進事業
- 発掘調査事業
- ホール「森の音楽隊」運営

令和7年度 一般会計歳入予算の内訳

歳入の主なもの	単位(千円)	率(%)
町 税	310,493	7.2
地方譲与税	77,499	1.8
地方消費税交付金	78,678	1.8
地方交付税	2,177,562	50.6
国庫支出金	197,619	4.6
県支出金	377,348	8.8
繰入金	371,135	8.6
諸収入	240,766	5.6
町 債	476,100	11.0
合 計	4,307,200	100.0



審査報告

予算審査特別委員会

令和7年度の当初予算審査を行うため、議長を除く9名の議員が委員となり、事業内容及び費用対効果等を審査。議会の最終日（3月21日）次のとおり審査報告しました。

付託事件（令和7年度）

- ①日野町一般会計予算
- ②日野町国民健康保険特別会計予算
- ③日野町介護保険特別会計予算
- ④日野町後期高齢者医療保険特別会計予算
- ⑤日野町簡易水道事業会計予算
- ⑥日野町下水道事業会計

審査の経過及び結果

本委員会は、令和7年3月4日、6日、14日、17日、18日、19日に委員会を開催し、付託された事件について、関係職員から詳細な説明を受けるなど慎重に審査を行った。

その結果、日野町一般会計予算については、次に述べる意見を付した上で、賛成多数で原案を可決するべきであると決定しました。また、日野町特別会計予算（②～⑥）については全委員一致で原案を可決するべきであると決定した。

審査意見

買物安心確保事業

（企画政策課）

この事業は令和6年度当初予算に計上されたもので、町民の買い物環境確保のための重要な事業でもあるにもかかわらず、職務怠慢により着手できなかったもので、令和7年度予算にあらためて計上されているものである。

事業実施内容、日程等が確定次第議会に報告の上、執行すること。

役場業務アウトソーシング事業

（企画政策課）

役場業務の一部を外部委託する事業であるが、予算はすべて町の一般財源とされている。また、具体的な事業内容が不明瞭のため再度検討の上、予算計上されたい。

ふるさと教育推進事業

（教育課）

継続事業であるが、目的、目標が不明確で費用対効果も見えてこない。そのような中で、日野高校魅力向上推進協議会と事務局を一本化するにあたっては、次期尚早であると思われる。また、まなびや縁側につ



黒坂店舗 屋根の修繕

いては、実情に即した開塾時間になっていない。運営形態も構成する町ごとに違っており、日野郡で同一事業とする必要性に疑問を感じる。

事業の在り方、方向性について再検討されたい。

職員の待遇格差

（総務課）

職員の待遇については、人員確保の観点からも重要である。再任用職員と会計年度任用職員の期末勤勉手当の格差は正について早急に検討されたい。

議会への説明

上記項目以外の指摘等についても重く受け止め、予算執行前に十分な説明をされたい。

交流促進施設管理

（産業振興課）

議会が再三提言してきたが、改善がみられていないことから、令和7年度の協定締結に当たっては、改善に関すること及び事業目的が達成されない場合は、指定管理料の減額もあり得る内容を明文化し実行すること。

また、改善が見られないのは町長の指導力、実行力が欠けていたのも原因である。施設の設置目的に沿った運営になるよう改善を求める。

質疑

役場業務アウトソーシング

議会で時期尚早との意見も多く出た為、執行部は次回定例会までに予算を削減するという結論に至りました。

交流促進施設管理

議員 議会から2度も提言書を出したが、未だ改善が見られない。事業者と情報共有や年度協定を結ぶにあたってどの様な協議されたのか。

執行部 主にレストラン・宴会・入浴だが、町民が利用しやすい工夫、管理運営をお願いしている。事業者よりチラシを作成する等の取組みを伺っている。

議員 改善項目の詳細について説明を述べて欲しい。

執行部 宴会利用については受入れ客数の拡充。新たなサービスでは、町民割やセット割の適用など、町民への利用促進を図る。

ふるさと教育推進

議員 講師の勤務形態と開塾時間が見合っていないのは、地元学生も受け入れ対象であれば下校後の夜間まで開塾するのが適当では。

執行部 要望があれば対応するが、現在対象者が居ないので今の体制を取っている。

議員 塾長講師とふるさと教育推進局コーディネーターの業務が同じでは。業務の区別分担はどのように置かれるのか。

執行部 推進局としての運営、公設塾の運営で分けているが、学生支援や他拠点との連携を図る中間的な役割を担う事としている。

議員 協議会を設置しなくても、町ごとの単独で事業が行えないのか。

執行部 ふるさと教育を進める上で日野高校魅力化の方向とも重なるので3町連携して行いたい。



日野町交流センター「リバーサイドひの」

林業再生事業

（産業振興課）



クレーン付グラップル林業機械

林業事業体に機械導入費補助金が計上されているが、この事業は県の間接事業として町を経由して補助金が支出される。町の支援がないため嵩上げ支援を検討されたい。

加えて林業振興は町の重要な施策であり、他の林業施策へも積極的に支援されたい。

討
論

反
対
討
論

議員 私は3点について反対です。一点目は交流促進施設管理事業です。

町民の税金である1200万円が有効活用できていないとは到底言えません。

2点目は同和関連予算です。やはり同和对策事業が行われている限り、断じて容認できるものではありません。

3点目はふるさと教育推進事業です。日野郡各町で採用されていた講師が、日野町で集まり、運営していた時は充実した様子が見られましたが、公設塾が3町それぞれに分かれて運営す

るようになってから、講師不在の時期があったりしました。この様な中で日野高校魅力向上推進協議会と事務局を一体化するには時期尚早である。

議員 まず、総務課の地域情報化事業、これはスマホでごみ情報を受け取ることが出来るアプリの導入にスマホを使っていたい何人の町民が利用出来るのでしょうか。これだけの費用を掛けることは、私は無駄ではないかと思えます。

次に産業振興課の畜産振興費は町内の畜産農家は減少を続け、酪農家一軒、和牛農家が9軒となっていていますが、これまで補助されていた餌代の支援がありました。農家の支援を考えるなら、当初から付けておくべきでは無いかと考えます。

議員 今年度も「リバーサイドひの」の指定管理料1200万円を計上されてお

ります。「リバーサイドひの」の地域住民等に対するサービスの効果及び効率を向上させ、以て地域福祉の一層の推進を図ると確認されております。管理運営については、この目的に遂行されているとは言いがたく、議会が再三「リバーサイドひの」について提言を行っておりませんが、改善が見られない。以上の観点から反対討論と致します。



賛
成
討
論

議員 予算審査6項目は、特に重要項目として、町長以下執行部に再三疑問点の詳細説明を求め議論を尽くしてまいりました。重要項目の予算執行に当っては、議会報告等を厳しく求めました。7年度予算は審査報告以外にも重要な案件が多く含まれております。日野学園義務教育学校の給食完全無償化、若者世帯向け住宅の建設等、重要な案件が多く含まれ、町政の停滞は許されません。

議員 予算委員会は6日間にわたり集中した審議を行い、14日には50項目にも及ぶ質問が提出されました。審議の様子は町民にも議会中継を通じて公開され午後8時まで議論が続くなど、慎重且つ徹底的な審査が行

われました。予算案には否決に値すると考えられる案件も含まれていましたが、住民生活に直結する重要な予算も多く計上されていることから、修正案を含めた議論を通じて、適切な対応を模索しました。予算執行には議会に十分な説明を求め、私は委員長報告に対し賛成いたします。

議員 特に教育関係、それから健康福祉、医療、そして加えるならば、まちづくりの展開、日野町が今後足がかりとして前へ進めるべき町長の肝煎りだというふうに私は判断しまして、まちづくりを含めて賛成の討論とします。

採
決
表

議案番号	件名	小林良泰	小河久人	坪倉敏	中山法貴	梅林智子	金川守仁	松本利秋	安達幸博	竹永明文	採決
第3号	専決処分の承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
第4号	令和6年度一般会計補正予算（第9号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第5号	令和6年度日野町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第6号	令和6年度日野町介護保険特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第7号	日野町職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
第8号	日野町職員等の旅費に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第9号	日野町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第10号	日野町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第11号	日野町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第12号	日野町職員の育児休業等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第13号	日野町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第14号	日野町議会の個人情報の保護に関する条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第15号	日野町国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第16号	鵜の池公園キャンプ場の設置及び管理運営に関する条例の一部改正	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第17号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第18号	日野町立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第19号	令和7年度日野町営土地改良事業経費の賦課基準並びにその徴収時期及び方法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第20号	菅福食文化伝承館の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第21号	令和7年度日野町一般会計予算	○	×	○	○	×	○	○	○	×	可決
第22号	令和7年度日野町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第23号	令和7年度日野町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第24号	令和7年度日野町後期高齢者医療保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第25号	令和7年度日野町簡易水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第26号	令和7年度日野町下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第27号	日野町江府町日南町衛生施設組合理約の変更に関する協議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第28号	令和7年度日野町一般会計補正予算（第10号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第29号	議会地方創生戦略特別委員会の設置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	人権擁護委員候補者の推薦にあたり議会の意見を求める	投票結果賛成多数									同意



鳥取県日野町立日野学園

6年生議会 埴田町長に問う



令和7年2月17日（月曜日）日野町日野学園6年生8名が、日野町議会議場で埴田町長に「私たちの町づくり」をテーマにして、全員がグループ研修でまとめ問題点を、議会本会議場で埴田町長に一般質問しました。

概要一部の紹介

一般質問通告書紹介 趣旨・背景

議員 私たちは、はばたき科の「人権が守られた住みよい日野町にしよう」という単元で「20年後、こんな日野町になってほしい」というテーマで学び、その学習の中で、日野町のよさである住民同士の助け合いや、伝統的な文化も引き継ぐことができなくなるのかもしれない。

日野町に住んでいる人が、日野町に愛着と誇りを持つことが大切だと考えました。
そこで、愛着と誇りが持てる「町づくりについて」町長さんに、質問させていただきます。

実施された通学路の安全対策



① 庁舎駐車場の出入口「とまれ」表示



② 根雨街内の水路ふた

○回答を求める事項

- ・人口減少問題と対策
- ・日野町への愛着と誇り
- ・空き家対策と対応
- ・通学路の安全対策

日野学園6年生・9名は昨年12月日野町定例議会一般質問を傍聴体験して、今年の2月17日に自分たちが町長に何を一般質問で問うかを考え、みんなで話し合いテーマを「町づくり」と定めて現状調査を実施しました。
本会議場では堂々と町長及び執行部に対し質問されました。
当日は議員全員が傍聴させていただきました。残念ながら当日は一人欠席でしたが、8人の意見に驚きました。
又、感想文と議場体験について感じたことを一人ひとりにからお礼の言葉として議会に頂きました。
「礼に始まり礼に終わる」教育の中で大切なこととして学園で指導されていることに感銘を受けました。
議会も今まで以上に、活動の充実を図ることを認識致しました。

3月定例会

令和6年度補正予算 (一般会計)

補正後総予算額40億 1,161万円

(表示額は万円単位とし千円以下は四捨五入しています)

令和6年度一般会計予算は、480万円を追加し、総額40億1161万円となりました。

一般会計補正会計予算

歳入の主なもの

地方譲与税 133万円
地方消費税交付金 453万円

国庫支出金△1451万円
県支出金 △1862万円
寄付金 186万円
繰入金 △6152万円
町債 △2850万円

歳出の主なもの

・世帯向け住宅建設 △96万円

野田地区に建設する世帯向け住宅建設用地取得の実績による減額。

・生活交通路線維持確保事業費補助金の増額 45万円

人件費、燃料費など運行経費の増額により生活交通路線維持確保事業費補助金に不足が生じたため補正する。

・任意予防接種(带状疱疹など)費用助成の増額 8万円

今後予測される任意予防接種の見込みにより、不足分を補正する。

・基金積立 (観光振興基金積立金) 200万円

・基金積立 (減債基金積立金) 1394万円

特別会計

・国民健康保険特別会計

歳入

国民健康保険税の減額 △363万円

社会保障・番号制度システム整備費補助金の増額 225万円

一般会計繰入金の減額 △356万円

歳出

財政調整基金繰入金の増額 309万円

財政調整基金積立金の減額 △195万円

過年度保険税還付金の増額 10万円

介護保険特別会計

歳入

国保支出金の増額 1万円

支払基金交付金の減額 △2万円

県支出金の増額 1万円

一般会計繰入金の増額 1万円

採決

令和6年度補正予算(一般会計・特別会計)は賛成多数で可決されました。

日野町江府町日南町三町衛生施設組合事務所移転

江府町役場内に位置していた事務所を江府町大字佐川2番地に日野町江府町日南町衛生施設組合(し尿施設)が移転します。
令和7年6月1日から施行する。

人権擁護委員候補者の推薦を承認する。

候補者氏名
行田 明美氏
中田 康介氏
令和7年7月1日
令和10年6月30日(3年)

日野川第一発電所 視察

総務経済常任委員会

令和7年1月17日日野町上菅にある県営日野川第一発電所を視察致しました。当日はM&C鳥取水力発電株式会社宮野尾所長始め、塚根地域共生担当課長から説明を受けました。

この日野川第一発電所は、昭和43年5月菅沢ダムから約2500m隧道で取

水し、発電が開始されました。令和6年12月に再整備され、導水路を1500m補修、新たに発電所の更新（建屋・水力発電・変電機類）を実施し再稼働されました。

今回のリニューアルにより出力が23ギアアップし年間想定発電電力は19,12



発電所の心臓部「タービン室」

8(MWh)となり約4,600所帯分の電気が賄えるとの説明でした。

また、発電所運転再開では、従前は鳥取県企業局が運営をしていましたが、この度よりM&C鳥取水力発電株式会社が運営、維持業務を開始しました。M&C社は、他に小鹿発電所や菅沢、中津ダムなどと管理する集中管理システムを県中部の倉吉で運営しています。日野町内では、風力発電計画がありますが、地域に根ざした再生可能エネルギー水力発電の魅力を改めて学ぶ機会でした。

教育課とふるさと教育について意見交換

3月7日 教育民生常任委員会

令和2年に日野郡3町が連携して設立した公設塾「まなびや縁側」。

塾の目的は、青少年に郷土の良さを伝え、将来ふるさとに貢献できる人材を育てるために、関係機関等が連携しふるさと教育を推進すること。令和7年3月時点では、日野拠点に16名の塾生が通っています。

今年度のふるさと教育推進事業予算1144万円と大増額です。意見交換では、目的が曖昧、効果が出ていない、3町連携ができていない、地元の塾生が少ない、講師2名の予定が一名しかない、開塾時間が適切でない、コーディネートなどの質問や意見が活発に交わされました。

令和7年度から日野郡ふるさと教育推進協議会と日野高校魅力向上推進協議会は事務局を一本化する予定



公設塾 まなびや縁側

地方創生戦略の取り組みは

議員 総理が提唱されている地方創生による町の活性化の取り組みを伺います。

町長 住宅改修や通勤費等移住定住に向けた支援を行っており、財政的支援は充実しつつあると思いますが、ソフト面での支援にかけようと思っています。

そこで、若い方の話を直接聞いて、政策に取り入れたいと思っています。子育て中のお母さん方に定期的に集まっていただき意見交換など、ご意見を拝聴しているところです。

議員 「きらり日野町創生戦略」は、基本構想と基本計画の関連性はどうなっていますか。

町長 構想の中では「住んで良かったと思える町づくり」を基本理念として「地域資源を活用した賑わいのあるまち」など四項目掲げ、基本視点として具体的計画と

して当初予算に盛り込んでいます。

ゴミの収集について

議員 一人暮らし(高齢者)のゴミ持ち出しについての対策をどのように考えておられますか。

町長 現在、ゴミ集積所までの持ち出しは、各自又は地域での支え合い、共助により行われており、今後もそのような体制を継続していく地域づくりを勧めようとしています。しかしながら、実際に困っておられる方もあろうかと思っています。ゴミ収集業務担当課の建設水道課と健康福祉課が連携し合って、個別対応を行うとともに、これからの対策について検討します。

今後支援が必要な方々の声を聞きながら、本町に合った支援策を具体化できるよう取り組んでいきたいと考えています。

日野町議会3月定例会

一般質問テーマ

松本 利秋	地方創生戦略の取り組みと高齢者のゴミ収集
小河 久人	地域おこし協力隊と移住定住の展開
金川 守仁	第2次きらり日野町創生戦略の成果
坪倉 敏	令和7年度新年度予算
小林 良泰	スポーツの振興及び発展、米や野菜など食料不足問題
安達 幸博	日野町の未来を施政方針から考える
梅林 智子	減税策と水道水の安全性
竹永 明文	女性を大切にする町

.....ご案内.....

チャンネルひので、議会中継がご覧いただけます。議員名下のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、各議員の一般質問動画が視聴できます。



松本 利秋議員



高齢者はゴミ集積所まで持ち出せない





小河 久人議員



地域おこし協力隊について

議員 報償費というのは、検索し、探す時に非常に重要なものになるものです。人材確保の観点ではかなり重要なポイントになってくると思うのです。その時点でふると落とされるのは機会損失でもあると思うのです。ぜひ検討して頂きたいと思いますが。

町長 一般論では確かにそうかなと思います。レベルを揃えるというか、そういう目線の中で、更には来年度から報償費、月当たりを上げます、これは他の町村もされるところだと思います、そういう風にして処遇の改善をしていただければ、ちよつとでも魅力を感じていただければ、PR情報発信をして参りたいと思います。

移住定住について

議員 課をまたいだ協議や団体との連携、制度の研究や事例調査等



坪倉 敏議員



議員 社会福祉法人日翔会への貸付事業について伺います。
町長 社会福祉法人日翔会が計画している職員住宅の建設に対し、「ふるさと財団」の融資制度が地域振興、公益性、事業採算性、新たな雇用など要件をみたすことから活用する。
議員 ふるさと融資の返済条件等を伺います。
課長 20年償還を予定しています。毎年利息の75％は地方交付税で補填されます。
町長 日翔会さんには職員住宅を造って福祉の担い手、人材確保の事業展開に感謝している。
議員 新年度施政方針で2期目も残り1年、総仕上げに努めるとあります。今年度の予算は43億720万円で6億円増加し、率にして16％増の大型予算だが思いを聞きたい。

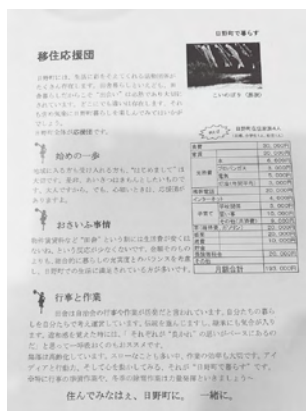


日翔会職員住宅建設予定地

財政健全化比率について

議員 財政健全化で後年度実質公債比率について伺います。
課長 毎年財政推計を行っているが、現時点では当面実質公債比率は9〜10％で推移する。
議員 鳥取西部地震時の公債比率のピーク値は。
課長 平成16〜18の平均では30.2％で、18年度決算の単年度値では35％の財政再建団体であった。

を踏まえて、日野町に合った制度設計が必要だと考えます。町長がリーダーシップを取って柔軟な発想で、急務に制度設計して頂きたいと思いますがどう思われますか。
町長 色んな課が関係しておりますので、当然情報共有はしているわけですが、更に情報共有を密にしていっていただくことが必要なのかなと思います。
議員 日野学園の卒業式がありました。町長はその時に町民と触れ合っ、心に愛着や誇りを持ったと思うので一度離れてもまた戻ってきた。町長をお辞めになっても日野町に残り続けてくれるつもりでしょうか。
町長 この町すごく好きでありますので、命ある限り感じていただきたいと思います。



移住者に渡すパンフレット



金川 守仁議員



第2次きらり創生戦略の成果と今後の展開

議員 基本戦略の構成・7項目の中で達成困難である項目の要因を伺います。

町長 期間目標を定めた「まちづくり」で「文化センター・公民館の利用者数を拡大」が、コロナ禍と重なり町民のみならず集まっていた、ただ、事象が困難となったこともあり、目標には達成しそうにありません。また、人口減については、当初の推計より緩やかになってはいますが、町内の働き手や担い手不足が課題であり、今後の対策が急務であると認識しています。
議員 産業雇用創出延べ30人と目標値（基本目標達成見込み）町内生産110億円について伺います。
町長 町内生産110億円については、95億600万円で達成していません。雇用については、町内雇用保険新規加入者の累計、78人

で達成しています。

国が進める部活動の地域移行化、 当町の認識と対応は

議員 新年度からの社会体育関係大会等派遣費補助について、金額や回数に制限はあるのか。

教育長 交通費及び宿泊費の実費分を全額補助とするが、宿泊費については町職員と同じ上限の金額まで。交付回数についても今までの2回までから何回でも大丈夫というふうに計画している。

議員 学園の部活動によって派遣費補助額が違点についてはどの様な考えを持たれているのか。

教育長 今、部活動地域移行が進んでおり、一部の部活動は地域クラブから参加している生徒もいる。本来は社会体育関係補助金から出されるべきだが、現在は移行期という事で学園の予算から出すようにしている。

議員 引率する指導者や保護者の補給費や公認資格を取得する等の補



小林 良泰議員



休憩中に教育長が詳しく補足答弁されたので、保護者の方はご視聴をお勧めします

助についての考えは。
教育長 新しい要綱でも補助はまだ考えていない。ただしクラブ完全移行となると、団体メンバーの生徒割合や監督が町内か町外かで内容が変わるので他町とも協議をしながら進めていきたい。
議員 生徒や近隣クラブ団体への実態調査等はされているのか。
教育長 米子のクラブチームに通っている児童生徒もいる。他町にあるクラブに参加出来るかという点については、クラブによって門戸を開けている所もあるれば制限をしている団体もあると認識している。子ども達から要望があれば、随時対応は取っていききたい。
議員 地域移行化に向けて、郡内や広域で補完するクラブや団体が設立される等の動きはあるのか。
教育長 日南町は地域移行化が進んでいて、郡内で一つ何か創ろうという話には消極的なので、現段階では江府町と協議をしている。

(1) 人口・世帯数の推移

表一 平成8年から平成27年までの人口・世帯数の推移（各年4/1現在）												
	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17		
人口	4,997	4,899	4,846	4,737	4,666	4,539	4,489	4,490	4,425	4,327		
男	2,376	2,312	2,290	2,240	2,215	2,141	2,117	2,122	2,081	2,028		
女	2,621	2,587	2,556	2,497	2,451	2,398	2,372	2,368	2,344	2,299		
世帯数	1,620	1,594	1,605	1,594	1,582	1,558	1,562	1,567	1,556	1,543		

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
人口	4,213	4,173	4,067	3,965	3,865	3,786	3,682	3,581	3,510	3,452
男	1,972	1,947	1,896	1,857	1,809	1,760	1,693	1,644	1,610	1,590
女	2,241	2,226	2,171	2,108	2,056	2,026	1,989	1,937	1,900	1,862
世帯数	1,548	1,532	1,536	1,524	1,501	1,490	1,465	1,445	1,437	1,424

日野町の人口の現状分析



安達 幸博議員



フィットネスジム開設

議員 第3次きらり創生戦略のフィットネスジムについて伺います。
町長 健康寿命延伸のためのフィットネスジム設置について本年度から具体的な検討を開始します。

AED、防犯カメラの補助は

議員 AEDや防犯カメラ、消火栓補助金の内容を伺います。
町長 AEDは町施設の町公舎に設置する予算を計上しています。自治会への補助は昨年10月に購入費の3分の2、上限15万円を創設しました。防犯カメラ補助制度は1万5000円を上限に新設しました。消火栓補助制度は今年度中に創設したいと思っています。

子育て支援

議員 子育て支援、若者定住施策で産婦人科通院のタクシー補助や

無痛分娩補助を創設しませんか。
町長 そのような支援は未検討でした。情報収集を進めて考えてみたいと思います。

不登校生の居場所づくり

議員 不登校生が安心して過ごせる居場所づくり予算を伺います。
教育長 しいたん広場や下榎交流センターを活用しています。
不登校適応支援員を配置し、個別支援を強化予定。将来的には適応指導教室の設置も検討します。
議員 給食費無償化に伴い、全国的に食育の概念から不登校生に給食費還付が行われていますが、本町の対応をお聞きます。
町長 私の概念では理解できません。勉強してみたいと思います。
教育長 食育の観点から議論の余地があると思います。



健康体操のイメージ



梅林 智子議員



減税策をとれ

議員 町民の暮らしは、かつてない程に困窮しています。
特に高齢独居世帯では、都会の子どもの所などに転出する方が相次いでいる。減税を検討するべきでは。例えば、固定資産税を現在の1.5割から最低値の1.4割に。
上水道の基本料金1200円と税部分。上水道以外の世帯には、同額の給付を行えば、公平性を保てるが、どう考えるか。
町長 試算では年間3300万円余りになるが、財源補填が必要となるため、貴重な自主財源を減税するのは難しい。
議員 町の貯金は今幾らあるか？
町長 約38億円です。
議員 町財政は健全でも、町民は瀕死ではないか。減税を考えるべきでは。
町長 ベクトル（方向性）が違います。

水道水の安全性

議員 現行の水道法では検査項目ではないが、問題となっている物質が3種ある。ピーファス・グリホサート・ネオニコチノイドを独自に検査する考えは無いか。
町長 ピーファスについては、令和8年4月から法規制対象だが除草剤のグリホサート・殺虫剤のネオニコチノイドは対象外です。水道法第1条では法の目的を公衆衛生の確保と定義している。
議員 水の安全を確保することは町民への責任ではないか。
課長 今年度念の為に検査したが、基準値以下のndだった。あくまでも、法規制に従う。
議員 全国に先駆けた安全確保を積極的に進めるべきではないか。
町長 検討する。



水質検査を行う米子市上下水道局

女性を大切にする町

議員 若い女性が住むような環境整備が重要だと思っています。町長も単身で頑張っておられますけど、女性は何らかの考えがあって古い家には住まないんですよ。町長も家を直したら奥さん一緒に住んでくれるかも分かりませんよ。
町長 女性の方からいろいろ御意見をいただく機会をどんどんつくっていかないといけないと思っています。女性が頑張っていただけのような、若者・女性が求める地域をつくっていかないといけないと思います。ご意見は参考にさせていただきます。

スポーツに親しめる環境整備

議員 日野高等学校黒坂校舎グラウンドの陸上競技場トラック整備について再度、提出されたが7年から日野郡スポーツ協会の事務局は



竹永 明文議員



日野高校黒坂校舎グラウンド

議会地方創生戦略特別委員会の設置

設置目的
過疎化(人口減少)が進む中、いかに魅力あるまちづくりを進めていくか調査・検証し、政策提言を行うことを目的とする。

特別委員会の構成 全議員（委員長 安達幸博）

本委員会は「第3次きらり日野町創生戦略」の基本理念のもと、審議を重ね計画中であります。

重点施策としては

- ① 人口増加・定住促進、子育て支援
- ・若者世帯・単身向け住宅政策
- ・土地利用を柔軟にする特区制度
- ② 職場環境の整備
- ・農林業の推進と後継者育成
- ・若者に魅力的な職場づくり
- ③ まちづくり計画とインフラ整備
- ・コンパクトシティ化
- ・根雨駅前周辺整備プロジェクト





第17回 日野に生きる

～鍛冶士 宮脇 光男さん

(根雨)



金持テラスに展示

日野郡唯一の鍛冶士宮脇光男さんは、根雨の自宅から自転車を通う。塔の峰から日野川沿いを走ると宮脇

鉄工所の看板がみえる。鉄製品を鑄造・鍛造する技術者を鍛冶士と呼ぶ。農具の鉄製品 鋏・鎌・鉋・鉋（まさかり）をはじめ、調理用包丁各種を造っている。鈍く光る鉄鍋は、2015年ころから評判で愛用者が多い。イタリア料理パエリア用の大型から、キャンプで使えるような小型のスレットまでフライパンも多種多様だ。文化財の修復に使われる和釘から、澄んだ音色の風鈴まで作り上げる技術は、長い鍛錬の結実。商品は金持テラスひのに、

展示されている。

真つ赤に焼いた鉄から、自在に産み出される作品は幾重もの工程があり、超人的な体力を必要とする。自転車通いで、日ごろから体の鍛錬も怠らない。

鍛冶工房 宮光 の顔

光男さんは、根雨で生まれ4人兄弟の長男として育ち、高校を卒業後、関西へ就職。

奥様の淳子さんとは大阪の会社で知り合ったが、鍛冶屋を営んでいた親の説得で、やむなく帰郷し鍛冶の仕事に継ぐことになった。従業員と共に、「見て体で覚える」の鍛冶屋修行が始まった。

そんな光男さんの元へ淳子さんは根雨までお嫁に来てくれた。

時は高度経済成長時代。鉄骨建築や水道工事などの工事を手がけ、忙しく立ち働いて来た。地域では日野町消防団の団員となり、23歳から65歳まで町の安全を



数千回打って仕上げる鍋造り

支えてきた篤志家である。昭和47年頃に社屋を現在の本郷に移し、鍛冶屋、鉄骨建築、水道工事の三分野の仕事をごなし地域を支えた。

現在は、長男慎治さん、次女奈美子さんが、奥日野わたらの里「鍛冶工房 宮光」を守り、地域に無くてはならない存在だ。農具の修理から包丁研ぎまで、生活や農業を支える縁の下の強力な力だ。

慎治さん奈美子さん今後もしよろしくお願いします。『たたら製鉄があればこそ、この地に鍛冶士宮光あり』

あとがき

深呼吸をすれば体内にエネルギーを補給した気持ちになる。

人々のまなざしと心を和ませてくれる花々のおかげでしょうか。そのような花々を見ているとふと楽曲が脳裏に浮かび口ずさんでいます。

瞳を閉じれば、あなたがまぶたの裏にいらっしゃる、強くなれたでしょう、あなたにとって私もそうでありたい。

人口減少で地域が寂しくなる中で、先人達が残した黄金に輝く田園風景を少しでも多く、次世代につなげることが日本の文化を守ることになり、時代が変わっても忘れてはなりません。

(小河 久人 記)

議会広報常任委員会

委員長	坪倉 敏
副委員長	小林 良泰
委員	松本 利秋
委員	金川 守仁
委員	梅林 智子
委員	小河 久人

